

歴代会長と主題

回/年	会 長 名	主 題 (指定演題テーマ)
第1回 (平成4年5月30日)	神崎 仁 慶應義塾大学 耳鼻咽喉科	
第2回 (平成5年6月12日)	寺尾 榮夫 東邦大学 脳神経外科	①非定型的聴神経腫瘍 ②脳定位的放射線外科vs摘除手術 ③術後の顔面神経麻痺の治療
第3回 (平成6年6月4日)	小松崎 篤 東京医科歯科大学 耳鼻咽喉科	聴神経腫瘍における内耳道拡大の病態
第4回 (平成7年6月10日)	小林 茂昭 信州大学 脳神経外科	内耳道内の腫瘍摘出
第5回 (平成8年6月12日)	柳原 尚明 愛媛大学 耳鼻咽喉科	①聴力正常の聴神経腫瘍 ②Medial type 聴神経腫瘍
第6回 (平成9年6月14日)	白馬 明 大阪市立大学 脳神経外科	①内耳道内腫瘍切除 ②聴神経腫瘍周囲組織の局所解剖
第7回 (平成10年6月6日)	草刈 潤 筑波大学 耳鼻咽喉科	①聴神経腫瘍の効率的な診断法について ②聴神経腫瘍に対するガンマナイフの適応と有効性について
第8回 (平成11年6月5日)	玉木 紀彦 神戸大学 脳神経外科	①聴神経腫瘍術中各種モニタリング ②内耳道内手術摘出操作
第9回 (平成12年6月3日)	塩原 隆造 慶応義塾大学 脳神経外科	①手術合併症 ②反省を要した症例
第10回 (平成13年6月2日)	橋本 省 東北大学 耳鼻咽喉科	①機能保存の要点 ②症状と腫瘍サイズ
第11回 (平成14年6月1日)	志賀 逸夫 慶応義塾大学 放射線診断科	①定位放射線治療の有用性について ②画像診断が困難な小脳橋角部腫瘍について
第12回 (平成15年6月7日)	小林 俊光 東北大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科	①記憶に残る困った症例 ②聴神経腫瘍の治療戦略
第13回 (平成16年6月5日)	佐々木 富男 九州大学 脳神経外科	①聴神経腫瘍の治療方針 ②診断・治療上のピットホール
第14回 (平成17年6月11日)	石川 和夫 秋田大学 耳鼻咽喉科	①聴力改善例の検討 ②内耳道内腫瘍の臨床像 ③聴神経腫瘍患者のQOL ④コンセンサスメーティングの報告形式
第15回 (平成18年6月3日)	神野 哲夫 藤田保健衛生大学 脳神経外科	①facial nerve の機能温存 ②Large size tumor の手術ゴール ③facial nerve palsy の形成外科的治療
第16回 (平成19年6月2日)	井上 佑一 大阪市立大学 放射線科	①聴神経腫瘍を除く、内耳道および小脳橋角部腫瘍性病変の画像診断と治療法 ②内耳道底に達する小さな聴神経腫瘍における聴力温存の工夫
第17回 (平成20年6月7日)	村上 信五 名古屋市立大学 耳鼻咽喉科	①内耳道内聴神経腫瘍の取り扱い (wait and scan, 手術, 放射線治療) ②ライナックスサージェリー
第18回 (平成21年6月13日)	甲村 英二 神戸大学 脳神経外科	①摘出術後の遅発性顔面神経麻痺型聴神経腫瘍の治療 ②腫瘍再発、残存腫瘍の再増大について
第19回 (平成22年6月11日)	原 晃 筑波大学 耳鼻咽喉科	①長期経過観察症例について ②治療方針決定までのプロセス
第20回 (平成23年6月4日)	大畑 建治 大阪市立大学 脳神経外科	①良好な手術成績を得るための手術の工夫 ②術中モニタリングの現状と課題

歴代会長と主題

第21回 (平成24年6月9日)	高橋 姿 新潟大学 耳鼻咽喉科	①稀な症状で発症した聴神経腫瘍 ②若年者の聴神経腫瘍の取り扱い
第22回 (平成25年6月8日)	本郷 一博 信州大学 脳神経外科	①機能温存に関する手術手技の工夫 ②思わぬ合併症および対処の方法
第23回 (平成26年6月14日)	小川 郁 慶應義塾大学 耳鼻咽喉科	①聴神経腫瘍の自然経過 ②NF2をめぐる諸問題 ③My worst case
第24回 (平成27年6月6日)	田中 雄一郎 聖マリアンナ医科大学 脳神経外科	①長期フォローから見えた病態 ②定位照射にまつわる諸問題 ③こだわりの技術
第25回 (平成28年6月4日)	岩井 謙育 大阪市立総合医療センター 脳神経外科	①聴力温存の工夫と長期治療成績 ②NF2の治療 -長期予後の観点から ③稀な内耳道 -小脳橋角部腫瘍
第26回 (平成29年5月27日)	大平 貴之 慶應義塾大学 脳神経外科	①次世代に伝えたい私の聴神経腫瘍手術のポイントとそれを如何に伝えるか ②NF2治療の諸問題 ③Large size tumorに対する定位放射線治療の工夫とその成績 ④顔面神経麻痺、聴神経障害に対する機能再建の現状 ⑤予定通りに行かなかった症例
第27回 (平成30年6月23日)	土井 勝美 近畿大学 耳鼻咽喉科	①聴神経腫瘍と聴覚保障 ②聴神経腫瘍と平衡障害 ③聴神経腫瘍の手術 ④聴神経腫瘍の経過観察 ⑤聴神経腫瘍と放射線医学
第28回 (令和元年6月8日)	長谷川 光広 藤田医科大学 脳神経外科	①小型聴神経腫瘍の治療の現状と展望：自然経過、直達vsガンマナイフ ②大型聴神経腫瘍の聴力温存：どこをめざすか ③モニタリングの秘訣、pitfall、リカバリー ④私の工夫：術前イメージング、術前検査、術中操作、術中支援システム ⑤放射線治療：タイミング、照射方法、集学的治療 ⑥聴神経腫瘍における神経内視鏡の役割、外視鏡の使用経験 ⑦顔面神経鞘腫の診断と最適治療
第29回 (令和2年11月21日) Web開催	山上 岩男 千葉メディカルセンター 脳神経外科	1.診断と自然歴研究の現況と展望 1) 神経耳科・電気生理学診断 2) 放射線診断 3) 自然歴 (watch & scanを含む) 2.治療の現況と展望 1) 摘出術の現況と展望 ①アプローチ、手術手技、モニタリング ②摘出率、機能予後 ③合併症 2) 定位放射線治療の現況と展望 ①外科医の立場から ②放射線治療医の立場から ③治療に難渋した症例 3.NF2の診断と治療 現況と展望
第30回 (令和3年6月12日) Web開催	藤井 幸彦 新潟大学 脳神経外科	1. 高齢者 (80歳以上) の治療について 1) 外科的治療 (通常の症例との摘出方法の相違など) 2) 放射線治療 3) 自然歴 2. 治療難渋例を中心とした症例報告 3. 外科治療こだわりのTips and Tricks (手術動画を中心に) 4. 放射線治療の増大傾向症例とそれ以外の放射線治療効果の相違